

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	67	—	事業名	子育てコンシェルジュ設置事業(利用者支援事業)	担当部課	福祉部子育て支援課
------	----	---	-----	-------------------------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	1	保育の充実	項	2	児童福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	5	保育園費
		政策分類	4	地域一丸で、子育て支援を充実させる	大事業	19	利用者支援事業
	その他(関係法令、要綱等)	子ども子育て支援法、子ども・子育て支援事業計画					
事業開始の背景、経緯等	切れ目のない子育て支援の充実に向け、子ども及びその保護者等、または妊娠している方が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報収集と提供を行い、必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施し、支援を行う。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て支援課窓口を利用者支援専門員(子育てコンシェルジュ)を配置し、保育施設や子育てに関するサービスの利用などの情報提供、相談業務を行います。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 子どもとその保護者などの子育て世代					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 教育・保育施設や子育て支援事業を円滑に利用できるようにする。					
	事業を構成する事務事業	①	子育てコンシェルジュ設置事業	拡充	④		
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算 決算		— —	— —	1,900 1,471	2,224 2,224
人件費(B)	千円	決算			—			
総コスト(A)+(B)	千円	決算			—	1,471	2,224	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A のべ相談受付件数	件	目標	—	—	80	120	600
			実績	—	—	70	622	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 平成28年8月から事業を実施し、市民に認知されてきたことで相談者数が伸びていることから、平成30年度の目標は月50人×12月と設定した。 B C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 子ども・子育て支援交付金を活用した事業 愛知県内の実施市町：瀬戸市、津島市、刈谷市、安城市、犬山市、大府市、高浜市、岩倉市
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 年度途中から事業を実施した、平成28年度より相談件数も増加し、平成29年度の当初の相談の受付件数の目標についても達成した。また、相談件数の増加から、子育てコンシェルジュが市民に認識されてきたと考えられる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民が気軽に相談出来る体制を整えるため、普段市役所へ来ない人々へ積極的なアウトリーチを行う必要がある。また、情報収集のため関係機関との関係作りが必要である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 保育園の園開放など子育て世代が参加する場へ子育てコンシェルジュが出向き、積極的なアウトリーチを実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 保育園に入所できなかった子どもの状況把握や認可外保育施設等の保育施設に関する保護者への情報提供等のフォローについて、今後充実を図る。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		子育てコンシェルジュ設置事業(利用者支援事業)									
番号	①	事務事業名	子育てコンシェルジュ設置事業	款	3	項	2	目	5	大事業	19	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成28年度		終了(予定)年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	子育て支援課窓口を利用者支援相談員（子育てコンシェルジュ）を設置し、子育て中もしくはこれから子育てを考えている方の相談に応じます。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	保育を中心とした施設や子育て支援サービスの利用に関する相談を受け付け、ニーズとサービスを結びつけていきます。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		-	1,900	2,224	2,276
		決算		-	1,471	2,224	
<事業費の主な内訳(当該事業年度)>							
①		一般事務嘱託員報酬				2,224	千円
②							千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
のべ相談受付件数	件	目標	-	-	80	120	600
		実績	-	-	70	622	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要(当該事業年度)>							
平成29年度相談者数							
市役所窓口 148人							
保育園、保健センター等 183人							
電話等 291人							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

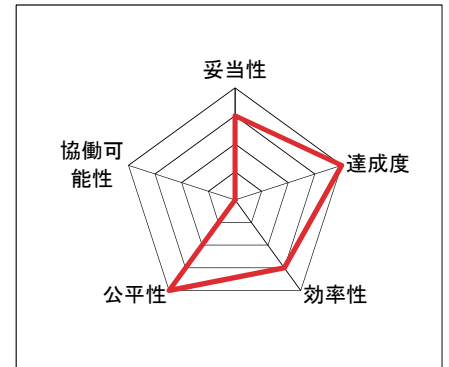
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
例えば保育サービスが受けられなかった方や、育児休暇の取得に伴い退園した方、個別に相談を受けて定期的なフォローが必要な方など、何らかのアフターフォローが必要な方への助言や、個々の家庭の情報を集約するなど、さらなるスキルアップを図っています。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
待機児童や育児休業取得に伴い保育園を退園した子どもの状況把握、また育児疲れを感じたり地域で孤立しがちな保護者を把握し、子育てに関する催しや認可外保育施設の情報提供など、アフターフォロー業務を充実していきたいと考えています。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成29年度より保育施設等に未入所である子どもの保護者への相談に応じるため、保育園や児童館で開催する子育て支援事業や保健センターの母子手帳交付日に施設を訪問し相談事業を実施した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	-



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成29年度は保育を中心とした施設や子育て支援サービスの利用に関する相談を受け、個々の家庭状況に応じたサービスへの結びつけを行ってきました。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
子育て支援課の窓口が基本的な相談場所であり、一般的な質問等による窓口対応が多くなり、アフターフォローやアウトリーチの実施がしっかりとできていない。

## 7. 今後の方向性

拡充

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
保育園に入所できなかった子どもの保護者や育児休業取得に伴い保育園を退園した子どもの状況を把握し、子育てに関する情報提供などによる、アフターフォロー業務の充実や、子どもを持つ保護者の相談に応じるため、アウトリーチでの相談支援の充実を図りたいと考えています。